

1〔形容詞・形容動詞の活用〕 次の表の空らんにあてはまる言葉を、それぞれ書き入れなさい。

元気だ	明るい	未然形	元気だ	明るい	連体形	仮定形
④	①	連用形	⑥	明るい	③	
	②		⑦			
⑤		終止形				

2〔用言以外の自立語〕 次の説明にあてはまる品詞を、それぞれあとから選びなさい。

- 「石・気持ち」のように、「何〈物〉・こと〈がら〉」を表し、「が・を・の」などを付けて主語や修飾語になったりする。
- 「のんびり・とても」のように、「どんなに〈状態や程度〉」を表し、主として連用修飾語になる。
- 「その・あらゆる」のように、「どの・どんな」を表し、もつぱら連体修飾語になる。
- 「しかし・そして」のように、主として文と文をつないでその関係を示し、もつぱら接続語になる。
- 「えつ・もしもし・はい」のように、感動・呼びかけ・応答などを表し、もつぱら独立語になる。

ア 感動詞 イ 副詞 ウ 名詞
エ 接続詞 オ 連体詞

- (1) () (2) () (3) ()
(4) () (5) () ()

3〔品詞の識別〕 次の各文の——線部の単語の品詞名を、それぞれあとから選びなさい。

- さあ、こちらに来なさい。
- おそらく父は欠席するだろう。

- () ()
() ()

- 祭りの日は町全体がにぎやかになる。
- 君に力を貸そう。ただし、今度だけだ。
- もつと速く走れるはずだ。
- 兄が北海道に転勤することになった。
- 昨年はとても忙しかった。
- ほんのささいな過ちが大事件に発展する。
- 君の家はどこにあるの。
- どんなに苦しかろうが、あきらめるな。
- ドカンと大きな音がして、炎が燃え上がった。
- おそろしいまでの静けさだ。
- どうか元気で過ごすください。
- ひどい目にあう。
- さようなら、また明日ね。

ア 動詞 イ 連体詞 ウ 助動詞 エ 形容動詞
オ 名詞 カ 接続詞 キ 形容詞 ク 助詞
ケ 副詞 コ 感動詞

4〔接続詞の種類〕 次の各文の——線部の接続詞は、あとのどの関係を示すはたらきをしていますか。それぞれ選びなさい。

- 彼は真犯人ではない。なぜなら、犯人は私だからだ。
- 集合場所に行ってみた。けれども、だれもいなかった。
- 夏休みは、海または山に行くつもりだ。
- はい、承知しました。ところで、例の話は進んでいますか。
- 彼は短気だ。だから、皆に嫌われる。
- 父は背が高い。しかも、太っている。

ア 順接 イ 逆接 ウ 並立・累加
エ 対比・選択 オ 説明 カ 転換

- () () () () () ()
() () () () () ()